

[省令第8条の4の6 (1,000トン以上排出事業者用)]

様式第2号の9 (第8条の4の6関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年 6月 24日

(宛先) 長野市長 殿

提出者

住所 新潟県新潟市中央区湖南1番地2

氏名 株式会社ヒノキヤグループ パパまるハウスカンパニー
COO 宮本 行雄

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-290-0880

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社ヒノキヤグループ パパまるハウスカンパニー 長野市内各事業場
事業場の所在地	新潟県新潟市中央区湖南1番地2
事業の種類	D06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,565.43t	全処理委託量	3,565.43t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00t	優良認定処理業者への処理委託量	132.34t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00t	再生利用業者への処理委託量	64.03t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00t	認定熱回収業者への処理委託量	0.00t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

※事務処理欄

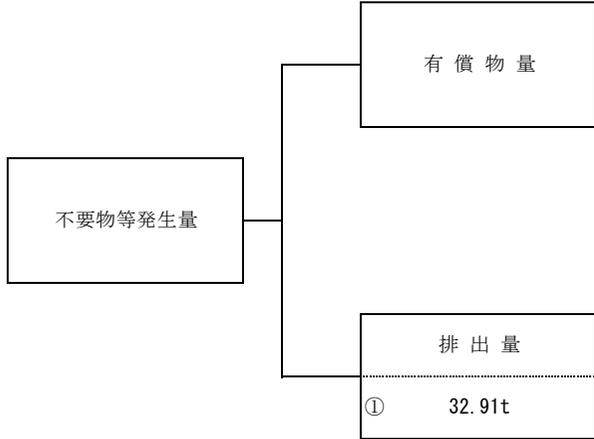
産業廃棄物処理計画実施状況（産業廃棄物の実績の量）

	目標値	産業廃棄物の種類（実績値）																		合計
		廃プラスチック(廃タイヤ、発泡)	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石)	がれき類(コンクリがら、廃アスファルト)	建設混合廃棄物(安定型、管理)	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず	繊維くず										
排出量	① 3,565.43t	32.91t	0.56t	105.73t	329.30t	115.60t	15.98t	59.43t	217.68t	2.66t										879.85t
自ら直接再生利用した量	②																			0.00t
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③																			0.00t
自ら中間処理した量	④																			0.00t
④のうち熱回収を行った量	⑤																			0.00t
自ら中間処理したのちの残さ量	⑥																			0.00t
自ら中間処理により減量した量	⑦ 0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら中間処理したのち再生利用した量	⑧			0.00t																0.00t
②+⑧自ら再生利用を行った量		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	⑨																			0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
直接及び自ら中間処理したのちの処理委託量	⑩ 3,565.43t	32.91t	0.56t	105.73t	329.30t	115.60t	15.98t	59.43t	217.68t	2.66t	0.00t	879.85t								
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪ 132.34t	14.60t	0.56t	29.28t	108.19t	114.04t		29.76t	18.38t											314.81t
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫ 64.03t	14.60t	0.45t	12.93t	49.73t	39.52t		26.49t	17.22t											160.94t
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬																			0.00t
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭																			0.00t

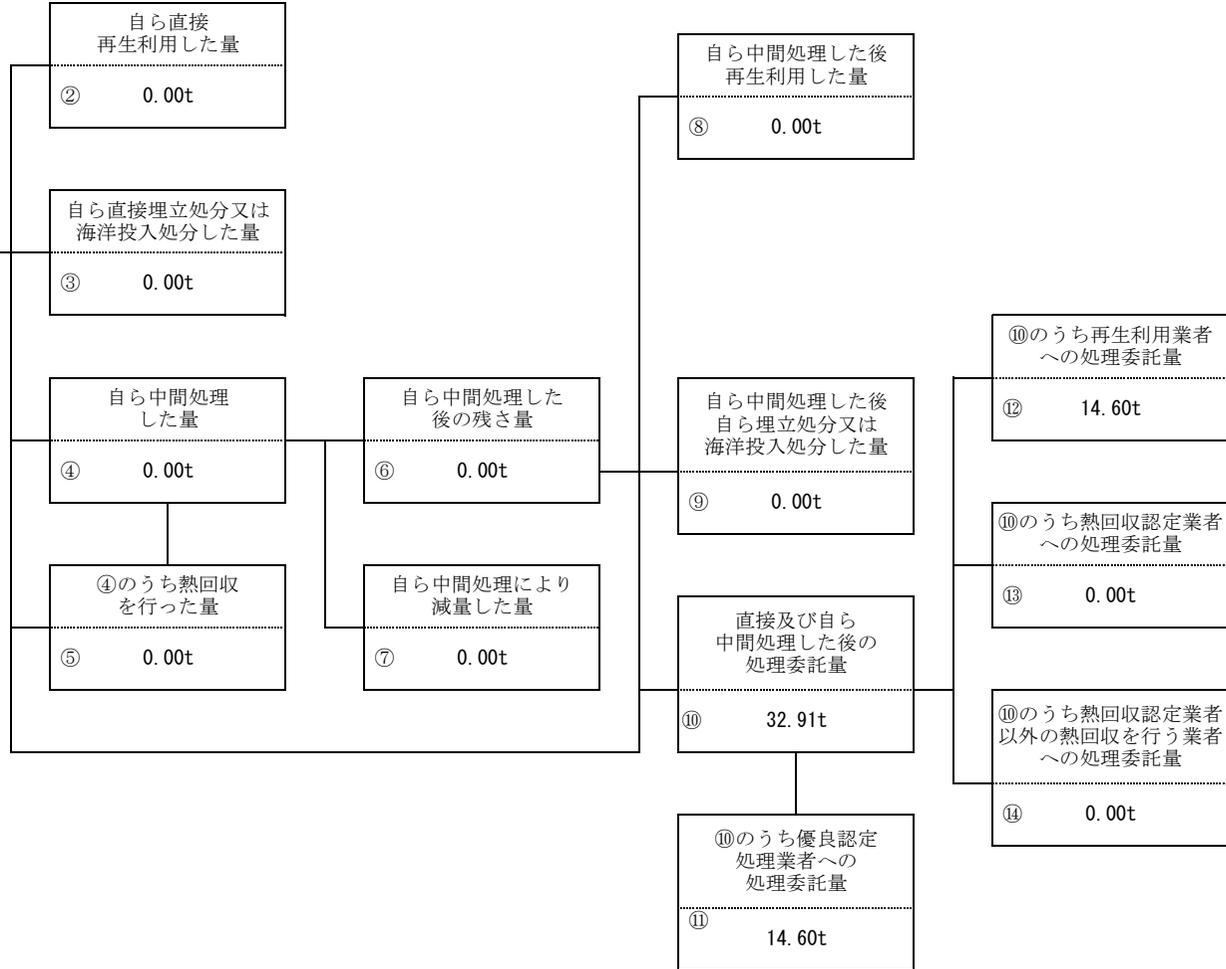
※ 記入に当たっては、「産業廃棄物処理計画実施状況報告書」第3面備考の4を参照してください。

計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック(廃タイヤ、発泡スチロール含む))

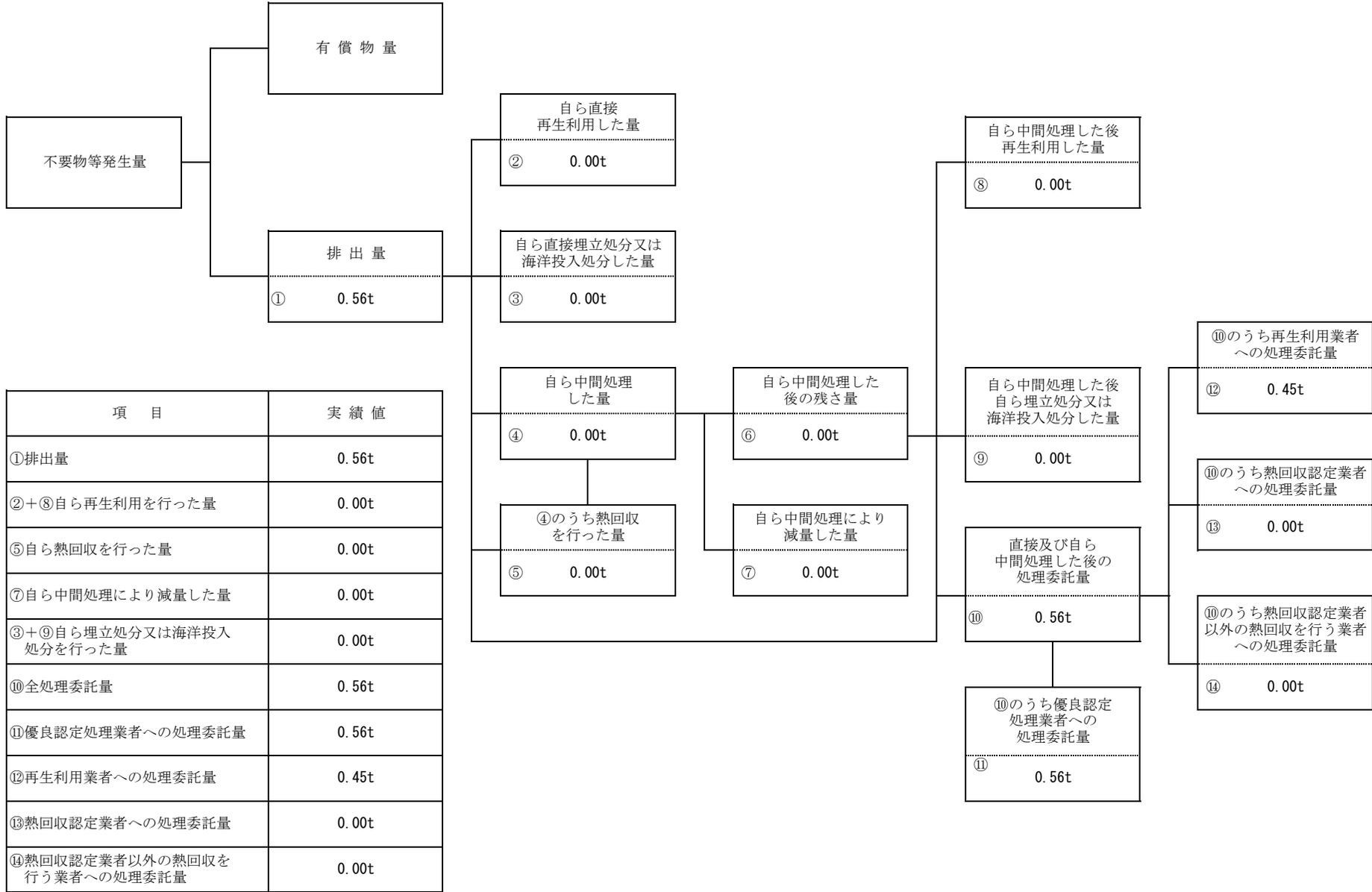


項 目	実 績 値
①排出量	32.91t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	32.91t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	14.60t
⑫再生利用業者への処理委託量	14.60t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t



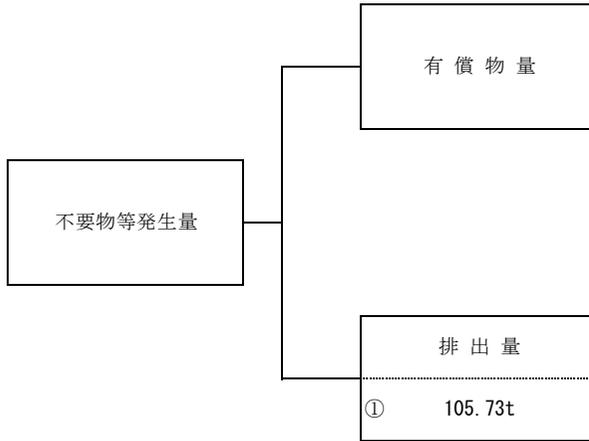
計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)

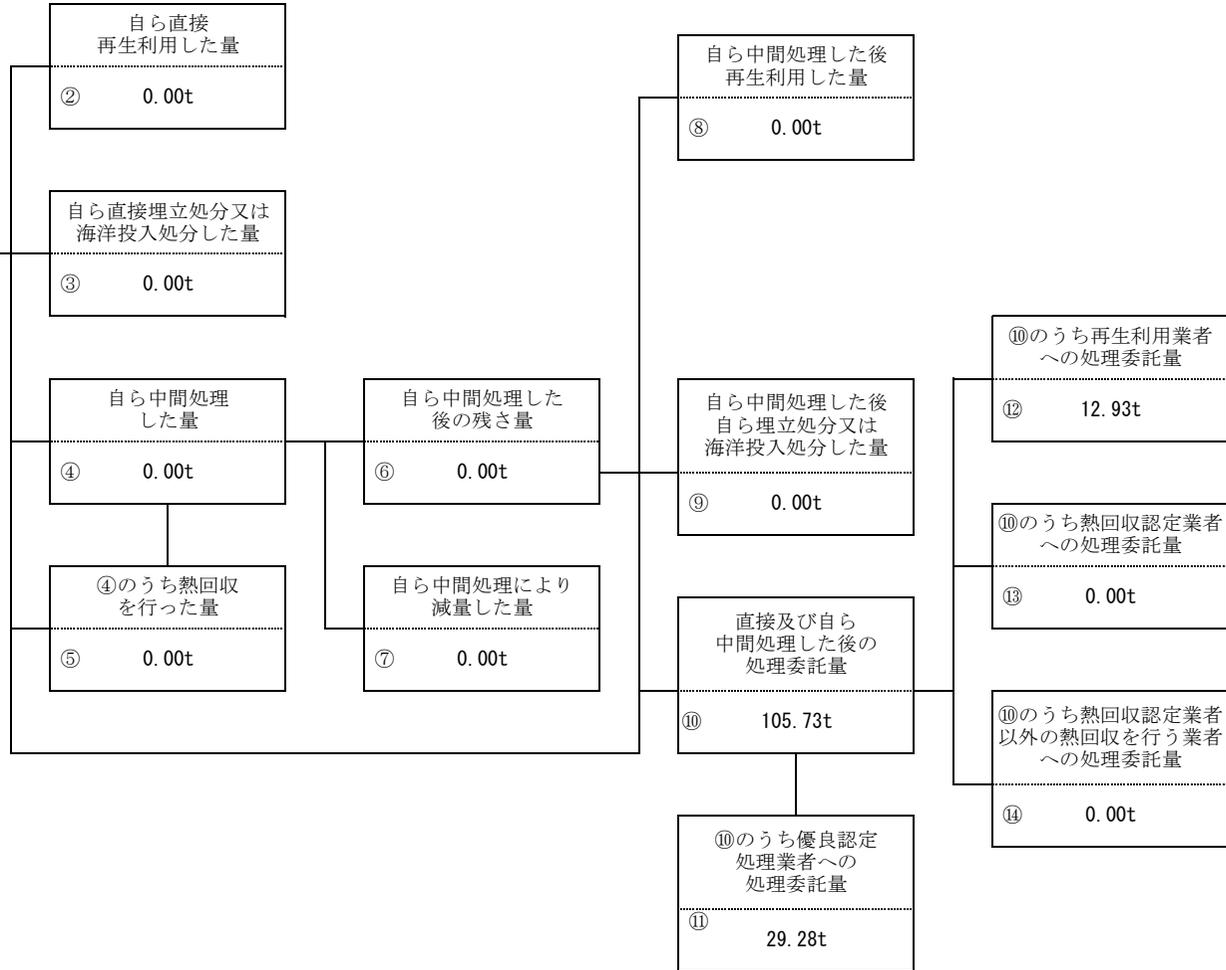


計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: ガラス・コンクリート・陶磁器くず(石膏ボード含む))

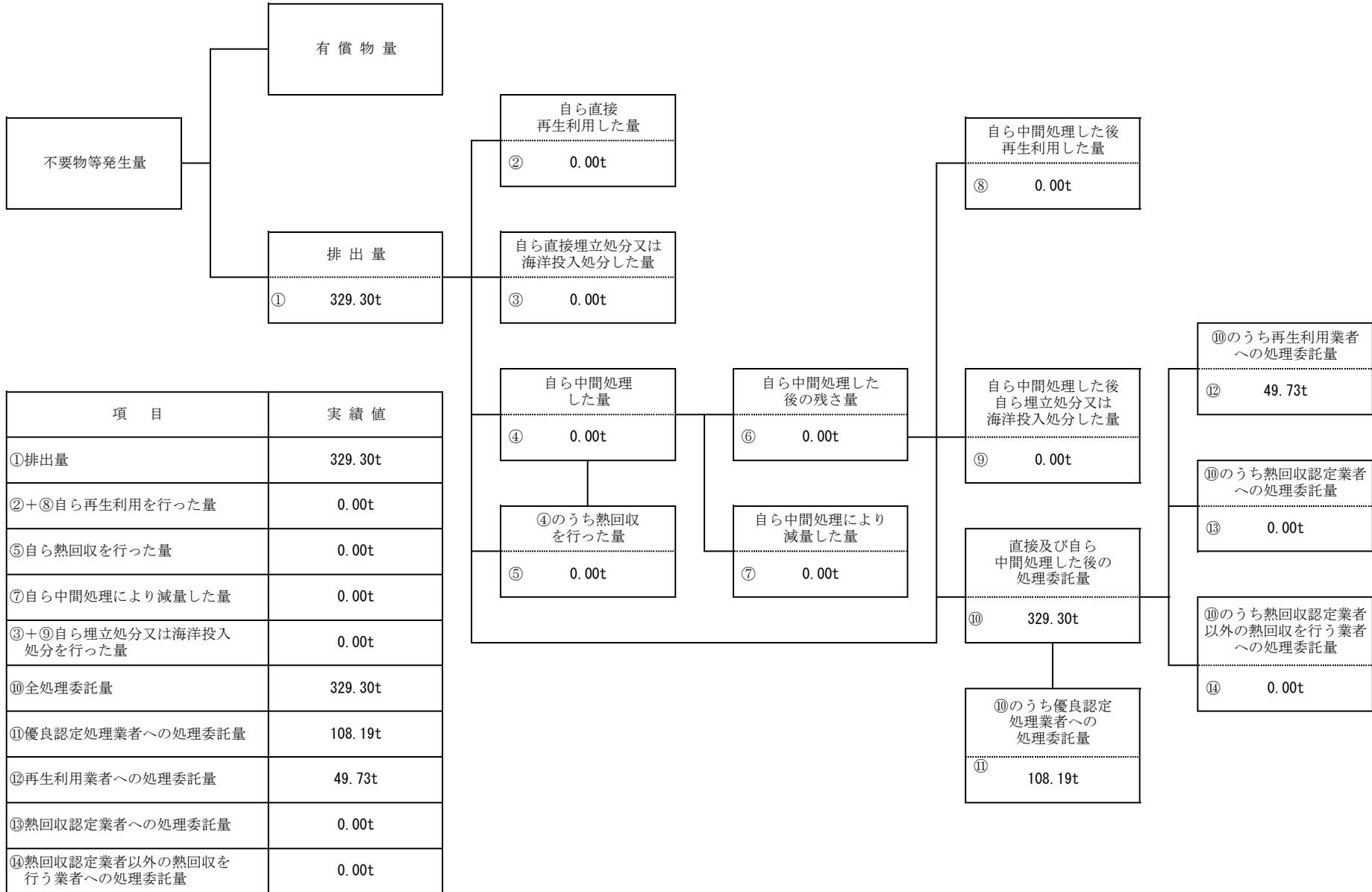


項 目	実 績 値
①排出量	105.73t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	105.73t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.28t
⑫再生利用業者への処理委託量	12.93t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t



計 画 の 実 施 状 況

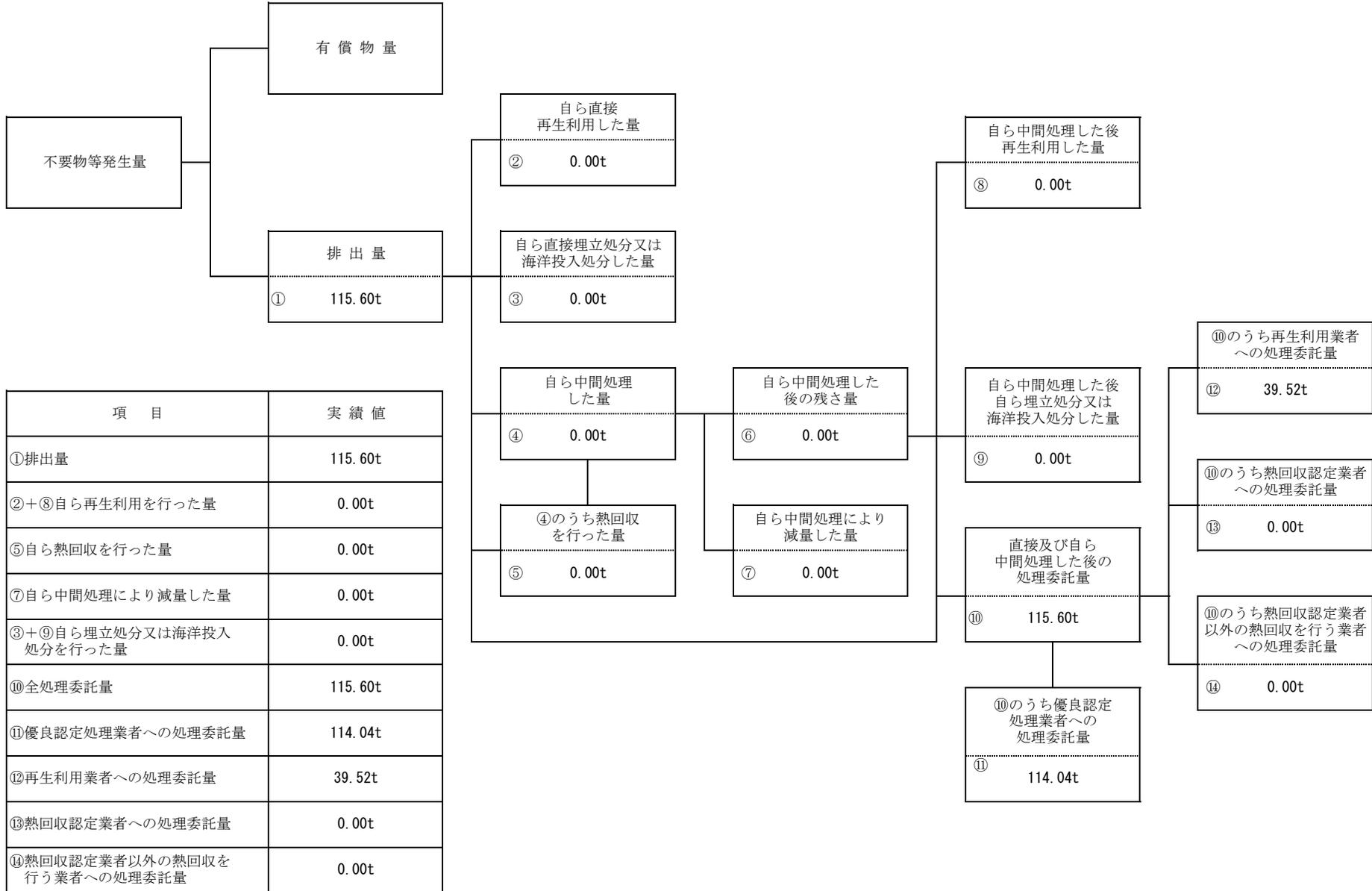
(産業廃棄物の種類: がれき類(コンクリがら、廃アスファルト、レンガ片等))



項 目	実 績 値
①排出量	329.30t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	329.30t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	108.19t
⑫再生利用業者への処理委託量	49.73t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

計 画 の 実 施 状 況

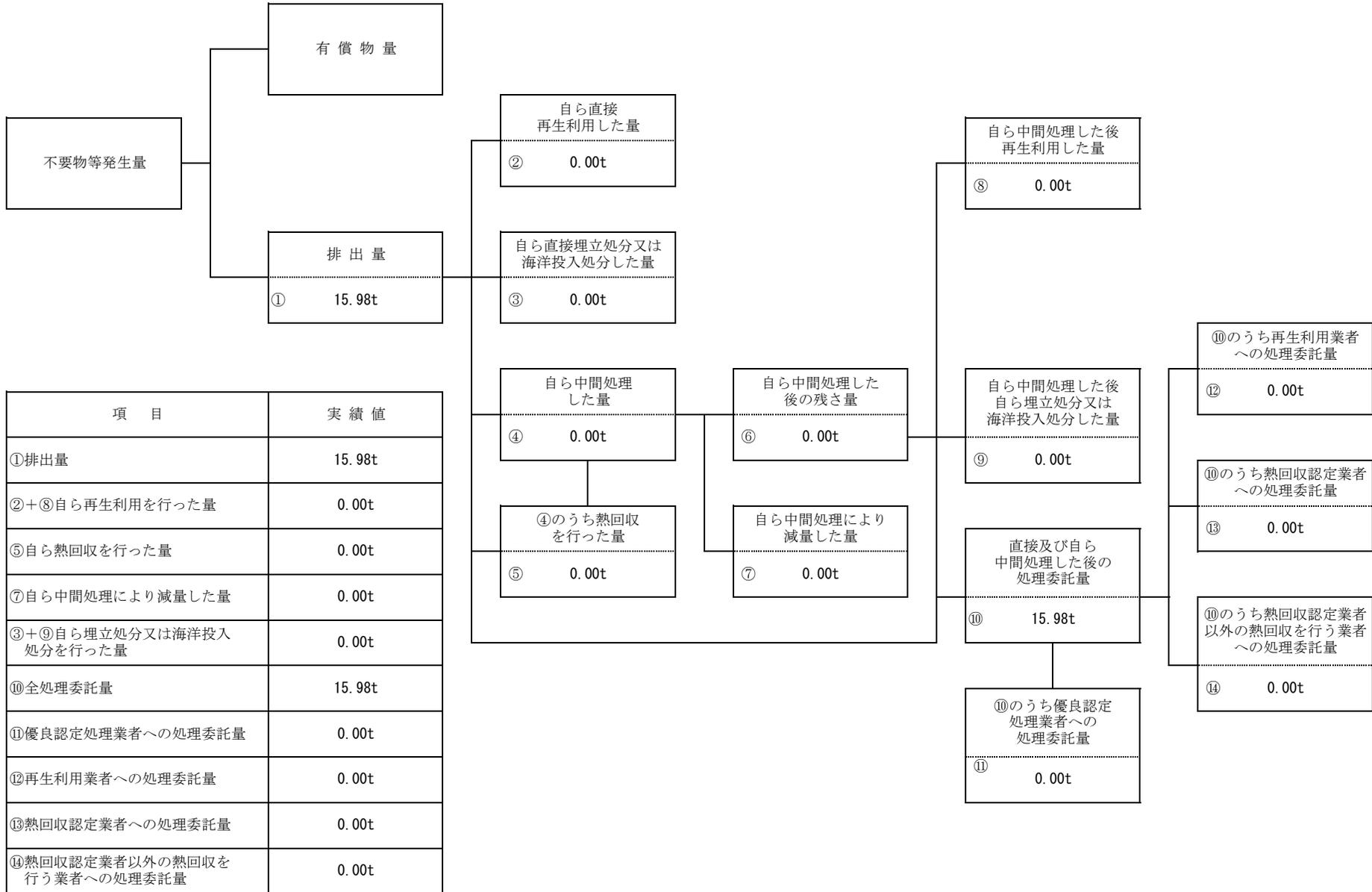
(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物(安定型、管理型))



項 目	実 績 値
①排出量	115.60t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	115.60t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	114.04t
⑫再生利用業者への処理委託量	39.52t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

計 画 の 実 施 状 況

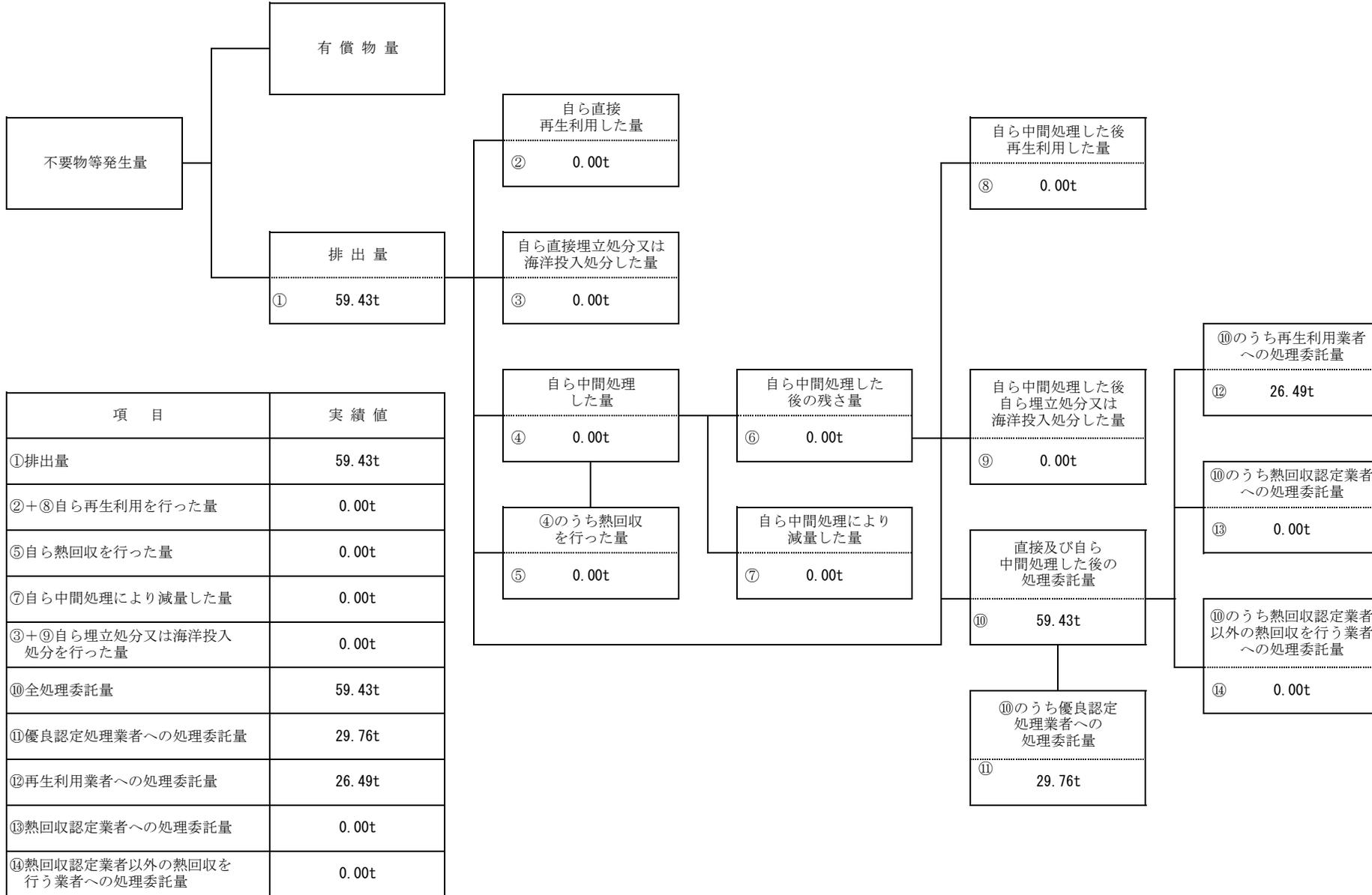
(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)



項 目	実 績 値
①排出量	15.98t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	15.98t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

計 画 の 実 施 状 況

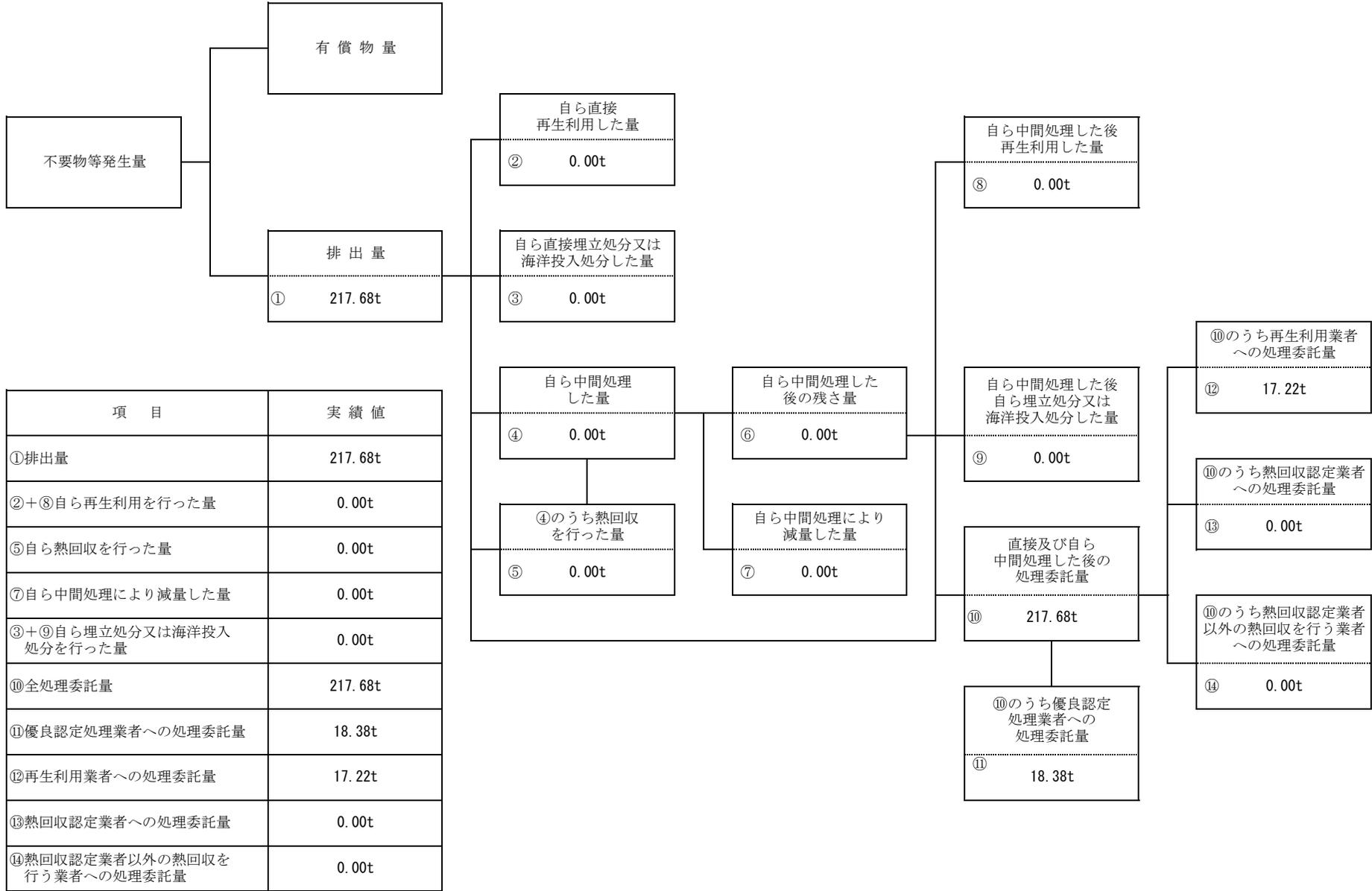
(産業廃棄物の種類: 紙くず)



項 目	実 績 値
①排出量	59.43t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00t
⑩全処理委託量	59.43t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	29.76t
⑫再生利用業者への処理委託量	26.49t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00t

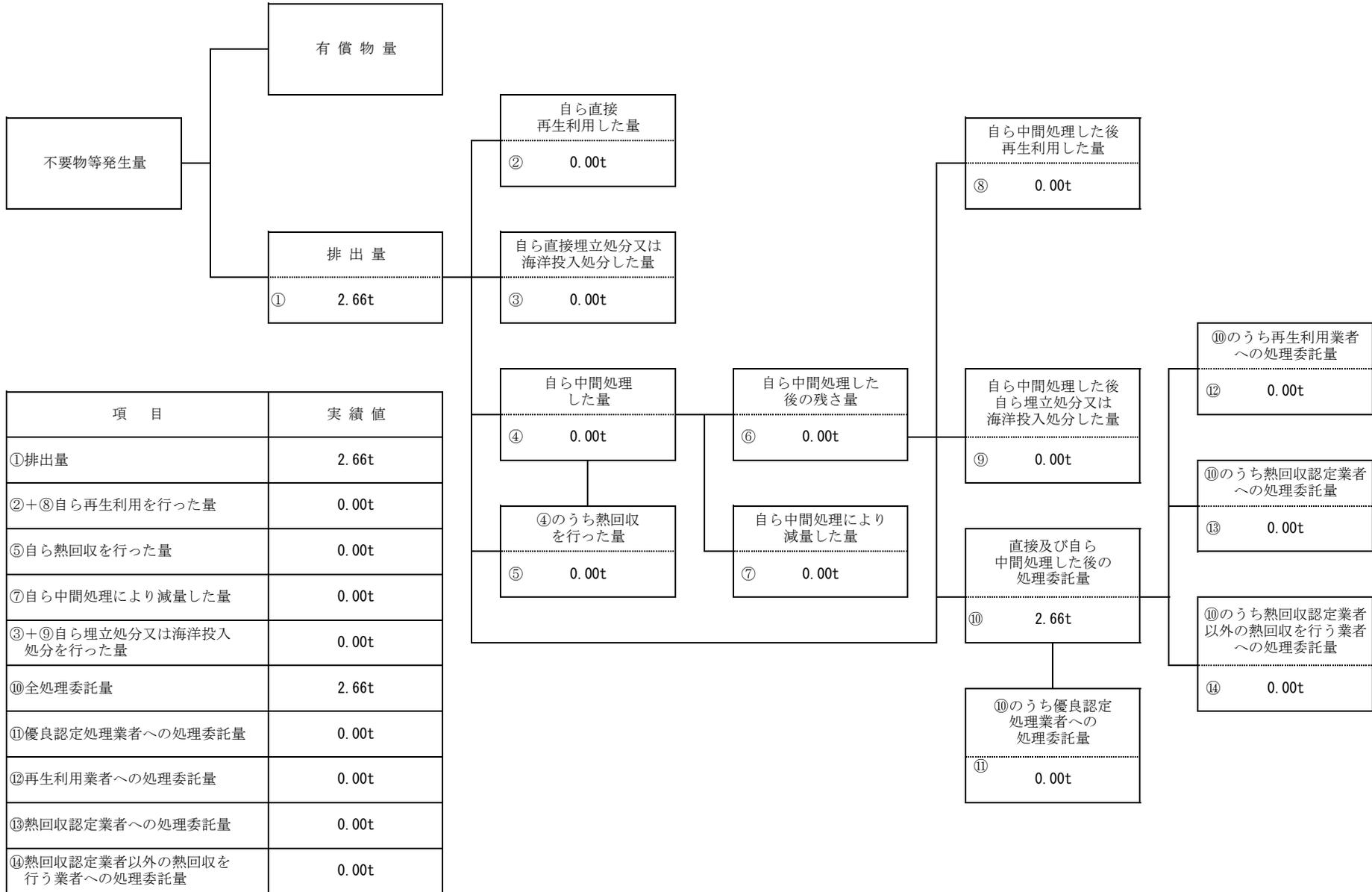
計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



計 画 の 実 施 状 況

(産業廃棄物の種類: 繊維くず)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が12以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。